

# 尿酸生成抑制薬フロー図

2025年1月初版

## 尿酸生成抑制薬

(薬価2024.4月)

アロプリノール

先発24.40円200mg/日

後発15.60～20.20円200mg/日

フェブキソスタット

先発53.30円40mg/日

後発19.40～20.40円40mg/日

トピロキスタット

先発31.80円40mg/日

尿酸値低下作用が強い

フェブキソスタット

服用回数が1日1回

フェブキソスタット

OD錠がある

フェブキソスタット

がん化学療法に伴う  
高尿酸血症の適応

フェブキソスタット

併用禁忌がある

フェブキソスタット・  
トピロキスタット

皮膚障害の  
重大な副作用

アロプリノール

腎機能障害患者に注意

アロプリノール

心血管疾患患者に注意

フェブキソスタット

効能・効果	第一推奨薬	第二推奨薬
高尿酸血症	<p data-bbox="384 258 1149 344"><b>フェブキソスタット(フェブリク®)</b></p> <p data-bbox="417 365 1309 472">がん化学療法に伴う高尿酸血症の適応取得 尿酸値低下作用が強い</p> <p data-bbox="417 486 754 529">服用回数1日1回</p> <p data-bbox="417 544 784 586">口腔内崩壊錠あり</p> <p data-bbox="402 601 1345 701">腎障害患者において中等度までは用量調節の必要はない</p> <p data-bbox="417 715 1217 758">心血管疾患の増悪や新たな発現に注意</p> <p data-bbox="417 772 741 815">併用禁忌がある</p> <p data-bbox="435 829 1386 872">メルカプトプリン水和物、アザチオプリンを投与中の患者</p>	<p data-bbox="1462 258 2186 344"><b>アロプリノール(ザイロリック®)</b></p> <p data-bbox="1472 365 2379 472">長期維持療法において良好な血清尿酸値のコントロール</p> <p data-bbox="1488 486 2091 529">重篤な皮膚障害の副作用あり</p> <p data-bbox="1488 544 1964 586">尿酸値低下作用が弱い</p> <p data-bbox="1472 601 2423 701">腎機能障害患者への投与は重篤な転機を辿る場合があるため減量等が必要</p>

3種類(アロプリノール、フェブキソスタット、トピロキスタット)の尿酸生成抑制薬が発売されている

# 推奨後発品

フェブキソスタット

「サワイ」「トーワ」「ニプロ」「DSEP」

アロプリノール

「サワイ」「トーワ」「杏林」